

# ポルトガル月報

2024年5月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

【内政】★マデイラ自治州議会議員選挙の実施

【外交】★ゼレンスキー/ウクライナ大統領のポルトガル訪問

【経済】★リスボン国際空港移転先の決定

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

## 内政

### ●共和国大統領の「欧州の日」に関するスピーチ

5月9日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、欧州の日を祝うメッセージを発出した。同大統領は、「我々は1950年5月9日のシューマン宣言以来、欧州連合の基礎を築き、繁栄、安全保障、社会正義、連帯、権利と自由、自由な移動などをもたらしてきた。我々が成し遂げてきたことに誇りを持つべきである。」と述べた。また、「現在、ロシアがウクライナに対して不当な戦争を仕掛けている。中東など他の地域での紛争の悪化と再燃は、私たちの大陸と市民を憂慮させている。」と昨今の国際情勢について述べた。加えて、「1か月後の欧州議会選挙は、EUの将来にとって決定的な瞬間である。」と述べ、全てのポルトガル国民に同選挙に投票するよう呼びかけ、締めくくった。

### ●欧州議会議員選挙に関する世論調査の発表

5月22日、CECOP（カトリカ大学世論研究・調査センター）は、6月に実施される欧州議会選挙に関する世論調査を発表した（当国では9日が投票日）。ポルトガル共和国議会で最多議席を保有する与党の民主同盟（AD）は支持率31%となり、野党第一党の社会党（PS）が30%となったが、技術的には引き分けとなる。3月の共和国議会選挙で躍進したシェーガ党（CH）は15%となり3位となった。世論調査の結果は以下のとおり。

政党	欧州議会政党会派	支持率
民主同盟(AD)*	欧州人民党 (EPP)	31%
社会党(PS)	社会民主進歩同盟 (S&D)	30%
シェーガ党(CH)	アイデンティテと 民主主義(ID)	15%
リベラル主導党 (IL)	欧州刷新 (Renew Europe)	6%
左翼連合 (BE)	The Left (GUE/NGL)	5%
統一民主同盟** (CDU)	The Left (GUE/NGL)	5%
自由党(L)	欧州自由連合 (Green/EFA)	5%
人と自然と動物の党 (PAN)	欧州自由連合 (Green/EFA)	1%

\*社会民主党(PSD)と民衆党(CDS-PP)の連合

\*\*ポルトガル共産党(PCP)・緑の党(PEV)の連合

### ★マデイラ自治州議会選挙の実施

5月26日、マデイラ自治州議会議員選挙が実地された。選挙の結果、社会民主党(PSD)が最多得票率を獲得したものの、獲得議席数は47議席中19議席となり、

過半数（24議席）獲得には至らなかった。選挙結果は下記のとおり。5月29日には、ミゲル・アルブケルケPSDマデイラ自治州党首が同州知事に任命された。就任式は6月7日に行われる予定。

政党	得票率	獲得議席数 ( )は前回比
社会民主党 (PSD)	36.13%	19(-4)
社会党 (PS)	21.32%	11(±0)
人民共同党 (JPP)	16.89%	9(+4)
シェーガ党 (CH)	9.23%	4(±0)
人民衆党 (CDS-PP)	3.96%	2(±0)
リベラル主導党 (IL)	2.56%	1(±0)
人と動物と自然の党 (PAN)	1.86%	1(±0)

## 外交

### ●共和国大統領のハマスに拉致されたポルトガル国籍人質の死亡に関する追悼メッセージ発出

5月3日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、ハマスによりイスラエルのギブツベリで誘拐されたポルトガル国籍を所持する人質の死亡がガザで確認されたことに関し、被害者及びその家族に哀悼のメッセージを発出した。また、ガザにいるすべての人質の即時かつ無条件解放と停戦の必要性を改めて強調した。

### ●共和国大統領のカーボベルデ訪問

4月30日から5月2日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、パウロ・ランジェール外務大臣と共にカーボベルデを訪問した。訪問期間中、大統領官邸にて歓迎式典、ジョゼ・マリア・ネヴェス同国大統領との懇談、現地のポルトガルコミュニティとの交流、カーボベルデ大学訪問、コレイア・エ・シルヴァ同国首相との会談等を行った。

### ●教育大臣のモザンビーク訪問

5月6日、フェルナンド・アレシャンドレ教育大臣は、モザンビークを訪問し、第3回在外ポルトガル学校会議 (EPE) に参加した。EPEは、社会教育共同体を結びつける協力と友好及び対話を強化し、知識、課題、を共有するとともに、世界ポルトガル語デーを祝い、ポルトガル

語の普及を促進する目的で行われた。

### ●共和国大統領主催の夕食会の開催

5月7日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、在ポルトガル の外交団長を招き、食事を挟みながら会談を行った。同夕食会には、日本、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア及び韓国の大使が招待され、当館からは太田特命全権大使が参加した。

### ●共和国大統領、イラン大統領に追悼のメッセージを発出

5月20日、ルイス・モンテネグロ首相は、セイエド・エブラヒーム・ライスイ/イラン大統領が飛行機事故により死亡したことに対し、追悼のメッセージを発出した。モンテネグロ首相は、「ポルトガル政府を代表し、この悲劇的な事故で命を落としたライシ大統領、アミール・アブドラヒアン外務大臣及びイラン国民及びその家族に心から哀悼の意を表す。」と述べた。

### ●共和国大統領のイタリア訪問

5月22日、共和国大統領はイタリアにて、セルジョ・マッタレラ/イタリア共和国大統領とともに、1974年4月25日の革命記念日50周年記念写真展の開幕式に出席した。23日、同大統領は、フィレンツェの欧州大学院にて、「新時代：欧州の価値観で未来を切り拓く」をテーマに開催されるカンファレンスの開幕式で講演を行った。その後、レベロ・デ・ソウザ大統領は同大学院に所属する生徒や研究者等のポルトガル人と面会を行った。

### ●ルイス・モンテネグロ首相のドイツ訪問

5月24日、ルイス・モンテネグロ首相はドイツを訪問し、シヨルツ独首相と会談した。モンテネグロ首相は、ドイツがポルトガルにとって重要な貿易相手であることに触れ、更にデジタル分野、エコロジー移行分野、イノベーション分野への投資を優先すると発言した。シヨルツ首相は、ポルトガルは「信頼できる同盟国」であり「EUにおける良き友人」であると表現し、NATOを通じた安全保障面の強化について更なる協力を行う意欲を述べた。

## ★ゼレンスキー/ウクライナ大統領のポルトガル訪問

5月28日、ゼレンスキー/ウクライナ大統領がポルトガルを訪問し、ルイス・モンテネグロ首相と会談、共同記者会見を行った。さらに、レベロ・デ・ソウザ大統領主催の歓迎式典に参加した。本訪問では、ポルトガル・ウクライナ間でウクライナ支援に関する協定に署名がなされた。モンテネグロ首相は、ゼレンスキー大統領との共同記者会見で、「ウクライナを支援するという我々の揺るぎないコミットメントは、この協定にて10年間維持され、延長も可能性である。」と述べた。また、共和国大統領主催の夕食会が開かれ、モンテネグロ首相、パウロ・ランジェル外務大臣及びテレザ・モライス共和国議会副議長が出席した。

## 経済

### ●2024年第1四半期の失業率の発表

5月6日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2024年第1四半期の失業率を発表した。同期間の失業率は、6.8%とされ、2023年第4四半期より0.2%高く、2023年第1四半期より0.4%低い数値となった。また、就業人口のうちテレワークをしている人の割合は19.7%であった。

### ★リスボン国際空港の移転先を決定

5月14日、ポルトガル政府は、リスボン国際空港の移転先を、アルコシェテ（リスボンからテージョ河を挟んで南東約40km）とすると閣議決定したと発表した。現在のリスボン空港は、新空港の開港まで維持される予定である。新空港は、ポルトガルの詩人にちなみ「ルイス・カモインス空港」と名付けられた。モンテネグロ首相は、この決定は「ポルトガルの将来が十分に考慮され、根拠があり、戦略的なものである。」と述べた。また、「新空港は、我が国経済の競争力を刺激し、投資と成長を呼び込む能力を加速させ、地域の結束を促進する」と新空港の果たす役割に期待を寄せた。

### ●リスボン・マドリード間的高速鉄道路線の発表。

5月14日、政府は、2034年にリスボン・マドリード間的高速鉄道（LAV）路線の完成を目指す閣議決定

した。同計画が完了した場合、リスボン・マドリード間は鉄道で3時間の移動が可能となる。同計画は、同区間に週約40便往復している航空便の代替案になることが期待されている。

### ●4月の再生可能エネルギー割合の発表

ポルトガル再生可能エネルギー協会（APREN）は、4月の電源構成における再生可能エネルギーの占める割合を発表した。4月の割合は87.6%となり、2024年の月別最高の数値となった。発電方法別では、水力発電が約48%、風力発電が約27%、太陽光発電が約9%となった。

	12月	1月	2月	3月	4月
再エネ割合	81.3%	80.4%	83.5%	84.4%	87.6%

### ●リスボン港及びシネス港でのコンテナ取扱量の増加

5月19日、ポルトガル交通運輸機構によると、2024年の最初に2か月のリスボン港及びシネス港におけるコンテナ取引量は20%以上増加した。同増加は、中東における情勢不安定化で紅海の実業が影響を受け、アジアから欧州を横断するコンテナ船が喜望峯ルートを使用せざるを得ない状態が続いていることに起因するとされている。

### ●2024年3月の年間消費者物価指数の発表

5月12日、INEは、2024年4月の消費者物価指数（CPI）を発表した。同月の消費者物価指数は2.2%となり、前月から0.1%減少した。この数値は、欧州連合統計局によって発表されたユーロ圏の同時期の数値（2.4%）をわずかに下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下の通り。

	(2023年)		(2024年)			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ポルトガル	1.5%	1.4%	2.3%	2.1%	2.3%	2.2%
ユーロ圏	2.4%	2.5%	2.8%	2.6%	2.4%	2.4%

(了)